

もっと!!

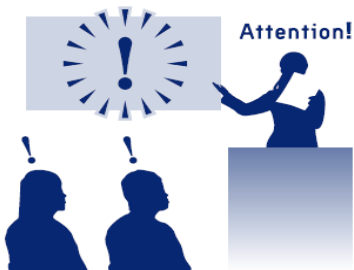
6 tips for effective lesson design

# 効果的な授業設計の6つのコツ

もっと!!

効果的な授業設計のコツ

その①



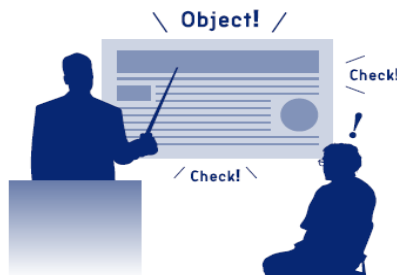
学習者の注意を  
向けさせる

- ① 授業のマナー化をさげ、毎時間新鮮さを保つ。
- ② どうして?なぜ?という知的好奇心を刺激するような質問、矛盾をいだかせる。
- ③ エピソードや問題の核心に触れるところなど面白そうな内容から始める。

もっと!!

効果的な授業設計のコツ

その②



授業の目標を  
知らせる

- ① ただ漠然と時を過ごすことがないように、「今日は何を学ぶのか」を最初に示す。
- ② どんな点に注意して話を聞けばよいか、チェックポイントは何かを伝える。
- ③ 目標を達成できたかどうかを実感できるように、あらかじめゴールを確認させる。

もっと!!

効果的な授業設計のコツ

その③



今までに  
学んだことを  
思い出させる

- ① 新しいことを伝える前に、必要な基礎的内容を復習し、記憶をリフレッシュさせる。
- ② これまでに学んできたこととどう関係しているか示す。
- ③ 前に習ったことは忘れていいることがあるので、復習のための確認テストや質問等を用意しておく。

もっと!!

効果的な授業設計のコツ

その④



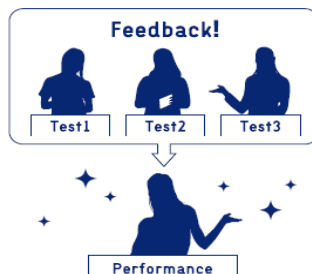
学ぶ内容を  
具体的に知らせ、  
学習の指針を  
与える

- ① 学ぶことを整理し、具体的な例を豊富に使って伝える。
- ② 図や表やイラストなど、全体像がわかりやすく、違いがとらえやすい表示方法を工夫する。
- ③ これまでの学習との関連や、よく知っていることとの比較、たとえ話、ごろ合わせなどを使って、学生に理解しやすく、伝える。

もっと!!

効果的な授業設計のコツ

その⑤



フィードバックを  
含んだ練習の  
機会をつくる

- ① 自分の弱点を見つけるために、本番前の予行練習を失敗が許される状況で十分に行わせる。
- ② 簡単な問題から取り組ませ、練習を段階的に難しくする。
- ③ 成功にはほめ言葉を、失敗には助言(何をどうすれば達成できるか)を伝える。

もっと!!

効果的な授業設計のコツ

その⑥



でき具合を  
確かめ、応用が  
きくようにする

- ① 学習の成果を評価するため、十分な練習機会を与えた後でテストを実施する。
- ② 目標に忠実な評価を心掛け、首尾一貫した評価とする。
- ③ 一度できたことを応用できる場面(転移)を用意し、次の学習につなげていく。